

「勢田川流域等浸水対策実行計画」を策定しました

- ▶ 平成29年10月(台風第21号)洪水で伊勢市では観測史上最大の降雨量を記録。満潮と台風による高潮・大雨のピークがほぼ同時に生じた影響もあり甚大な浸水被害が発生したことを受け、流域全体で浸水被害軽減に向けたハード・ソフト対策を一体的に実施するため、伊勢市・三重県・三重河川国道事務所で「勢田川流域等浸水対策協議会」を平成30年1月に設立。
- ▶ より効果的な浸水被害軽減対策を推進するための「勢田川流域等浸水対策実行計画」を平成30年6月19日に策定。

6月19日 伊勢商工会議所にて



ハード・ソフト対策の一体的な取組みによる効果的な浸水被害軽減対策の推進

勢田川流域等浸水対策実行計画

勢田川流域等浸水対策協議会

1 勢田川流域の現状と課題

平成29年10月(台風第21号)洪水では、志賀川下流域で年間最大量の約1.4～1.3の雨量を記録し、勢田川流域で甚大な被害が発生した昭和49年7月洪水(七夕豪雨)の累積雨量496mmを大幅に上回る累積雨量584mm(観測史上最大の累積雨量)となりました。

伊勢市内では満潮と台風による高潮・大雨のピークがほぼ同時に発生した影響もあり、雨水排水不備による浸水に加え、勢田川・松尾川・井谷川の河川からの氾濫も生じ、広範囲で浸水被害が発生しました。

このように、これまで経験したことがない大雨に対して、ハード対策により被害を完全に防ぐことは困難ではありますが、できる限り被害を最小化するための対策をハード・ソフトの二者を連携して、短期・中長期の計画に基づき対策を重点的に実施していくとともに、ソフト対策として地域住民が参加する防災訓練等の防災啓発活動や防災教育により、住民の防災意識の向上を図る取り組みを推進し、安全・安心なまちづくりを進めます。

【浸水被害軽減対策計画メニュー概要】

区分	カテゴリー	No.	対象河川(区域)	内容	事業主体	実施する目標年度	
						短期計画(今後5年程度)2018～2022年度	中長期計画(今後20～30年程度)
河川整備	ハード対策	1	勢田川	緊急的な堤防かさ上げ	国土交通省	18年度完成済	
		2	勢田川	河堤固め	国土交通省	19年度完成済	
		3	勢田川	勢田川排水機場ポンプ増強	国土交通省	19年度完成済	22年度完成済
		4	勢田川	逆流防止フラップ弁設置	伊勢市	18年度完成済	
	ソフト対策	5	松尾川	松尾川排水機場ポンプ増強	国土交通省	19年度完成済	
		6	松尾川(指定区域)	河堤固め	三重県	22年度完成済	23年度完成済
		7	松尾川(指定区域)	河川整備	三重県	22年度完成済	23年度完成済
		8	松尾川(準用河川)	河川整備	伊勢市	22年度完成済	23年度完成済
雨水排水	ハード対策	9	勢田川・松尾川流域	下水道整備	伊勢市	18年度完成済	22年度完成済
		10	勢田川・松尾川流域	流域における総合治水対策	国土交通省 三重県 伊勢市	18年度完成済	22年度完成済
		11	勢田川	危機管理型水位計の設置	国土交通省	18年度完成済	
	ソフト対策	12	勢田川(指定区域・準用河川)	危機管理型水位計の設置	三重県 伊勢市	18年度完成済	
		13	勢田川流域	洪水浸水想定区域の指定・公表	国土交通省	18年度完成済	
		14	勢田川(指定区域)流域	洪水浸水想定区域図の作成	三重県	18年度完成済	
		15	勢田川流域	洪水浸水想定区域の啓発の実施	国土交通省 伊勢市	18年度完成済	
		16	松尾川流域	危機管理型水位計の設置	伊勢市	18年度完成済	
		17	松尾川流域	洪水浸水想定区域図の作成	三重県	18年度完成済	
		18	松尾川流域	洪水浸水想定区域図の啓発の実施	伊勢市	18年度完成済	
		19	勢田川・松尾川流域	ハザードマップの更新	伊勢市	18年度完成済	
		20	勢田川・松尾川流域	防災啓発体制の強化	伊勢市	18年度完成済	
		21	勢田川・松尾川流域	伊勢市防災大学の開催	伊勢市	18年度完成済	

勢田川流域等浸水対策実行計画における目標と整備効果

①短期計画【当面5年程度で、浸水被害の軽減効果が高い対策を集中的に実施】

- 平成29年10月洪水(台風第21号)に対して、勢田川から溢水氾濫を解消
- 勢田川・松尾川流域の床上浸水を軽減

②中長期計画【概ね20～30年程度で、浸水被害の防止に向けた整備を実施】

- 昭和28年9月洪水(年超過確率※1/30)に対して、浸水被害を解消
- 平成29年10月洪水(年超過確率1/100を超える規模)に対して、床上浸水は解消

※毎年、1年間にその規模を超える現象が発生する確率が1/●●であることをいう。本計画では、高潮と洪水が同時に発生した場合の確率を示している。

平成29年10月(台風第21号)の高潮・洪水におけるハード対策整備効果(現況及び中長期整備計画後)



※1 中長期計画のハード対策整備後に50cm以上の浸水域が一部あるが床上浸水は発生しない。